

東北地方

秋田縣土木修路夫感謝式 舉行

秋田縣に於ては昭和九年度以來道路交通の圓滑、道路修理の萬全を計り併せて交通文化の一大紀元を劃すべく管内修路夫の指導督勵に完璧を期しつゝありしが昨年縣よりの表彰式に代へて今回（秋田市河邊郡）管轄たる秋田土木事務所、秋田市、及び下北手村修路夫を併せ其の作業、状態修理方法優秀なりと認め秋田市市長及河邊郡町村長會長發起の下に市町村長並に市部有力自動

車會社等各自の據金に依り秋晴れの一日河邊郡和田町演舞場に於て高田縣土木課長、榮引道路主事、山田、日野兩技師並に秋田市市長代理、郡内各町村長、自動車會社代表者等列席の上修路夫感謝式を舉行せり市長代理長谷部助役より左の感謝狀並に賞與として金一封を修路夫一同（縣修路夫九名、市修路夫二名、下手平修路夫一名）に對し贈呈せり。

感謝狀

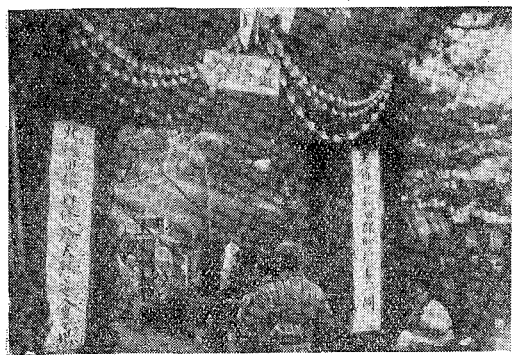
修路夫 某 殿
平素職務勉勵克ク其ノ本分ヲ盡シ成績顯著ナリ乃テ金一封ヲ呈シ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

昭和十一年十月二十四日

秋田縣北秋田郡道路祭及 修路工夫慰安會

秋田縣北秋田郡總興土木事務所管内に於て同郡内町村長一同相集り道路祭並に修路夫慰安會を舉行せり。當日縣より酒井經濟

秋田市市長 鈴木安孝
河邊郡町村長會 村越市之助
會長



修路夫慰安會光景

部長、山田技師（土木課長代理）を始め一般來賓として中田代議士、金、庄司、余各縣會議員、主催者側たる町村長一同出席し成田同郡町村長會幹事開會を宣し續いて神官により嚴に道路祭を執行し終りて修路夫表彰式に移り町村長一同よりの修路夫平素の努力に對する感謝狀を贈呈したり。餘興として秋田縣獨特の番樂並にその合間に地方藝妓の手踊をなし修路夫等は未曾有の慰安會に興を盡したり。當日全縣會議員より道路祭執行の主旨を告げられたり、その要旨は次の如し。

「何事にせよ、總て物には靈がある。精神がある。その物を使用して無事に目的を達したる時はその物の靈に對して、お蔭で有難う御座いましたと感謝報恩の念を以て御禮を申さねばならない。吾々は毎日茶碗と箸を持つて御飯を食ふ而して食ひ終ればその食器を奇麗に洗ふて置く是れは此の次に食ふ時奇麗な食器で氣持良く食ふ爲めではなくその茶碗と箸とあつた爲に無事に食事が出来た事に對してその食器の靈に對して感謝報恩の念を以つて御禮を申すのである。又道路に於ても毎日吾々は役所に行く

にも一寸用盡しに行くにも道路を歩くその道路あり橋梁ありて始めて雨の日も風の日も洪水時にも無事に歩けるし又河向の村にも用達しが出来る。是れは一に道路の御蔭である故に吾々は此の道路の靈に對して感謝報恩の念を以て對せねばならない。又此の道路と共に身心一體となりて雨の日風の日もその道路修理に寢食を忘れて働く修路夫こそ是又實に吾々は感謝せねばならない、殊に最近の努力振りは實に衆目の驚嘆せる處であるその努力の功顯はれて最近の道路は實に整然として路面は鋪裝道路にも劣らざる處多くあり此の靈此の努力に對して感謝報恩の爲め道路祭並に修路夫慰安會を執行する事は實に事宜を得た事である。

（以下略）

北陸地方

新潟縣姫川橋の改造

新潟縣西頸城郡内國道十一號線糸魚川、青海兩町を結ぶ姫川橋は昭和七年四百六十二米の木橋の一部青海町寄り二百五十二米

が流失の際此部分のみが鐵骨のモダン橋に改造され、その後増水のたびに木橋流失の危機に瀕してゐたが既設鐵骨に續いて百二十六米を鐵骨に改造することになりドンゴグの糸魚川寄り五十四米の木橋を残して幅員四・五〇米を鐵橋化することになつた工費は下部構造一萬五千三百八十圓、上層部四萬四千五百圓で來春四月迄に完成する豫定である。

東山地方

岐阜縣木曾川橋の工事狀況

況

岐阜市外羽島郡笠松町と愛知縣羽栗郡北方村を結ぶ大木曾川橋架換工事は總工費實に七十萬圓を投じて昭和九年九月着工したが十月三十一日下部鐵筋コンクリート工事を漸く完了し上部工事も着々進捗を圖つて居る、同橋は岐阜と名古屋とを結ぶ幹線名敦國道であるから一日平均歩行者千九百九十六人、車馬自動車四千七百五十三臺自動車四百九十九臺の多量に達し其の落成の期を

待望する所大なるものである。

東 海 地 方

静岡縣の東海道並木保護

静岡縣土木部では東海道の松並木を保護し且つ道路美を保つ外幅員の狭き道路には自動車の特避線を設け交通の利便を計ることとを企てることとなつた。

豊橋市主要道路舗装工事

の進捗

豊橋市が十一年度の道路改修事業として行ふべき魚町と吳服町角から公會堂前に至る大手通りの兩市道の舗装は遷延して漸くこのほど手をつけ目下進行中で十一月中には完成のことになつてゐる。

右兩市道の工事は魚町延長四千二百間で一萬百圓、大手通りは九十六間、三千四百二十五圓の豫算、これに對し兩側民家土地所有者は受益者負擔金として三分の一を課せられた。

またこの外豊橋市内の道路舗装として縣

道に屬する吳服町角から西に電車通り神明町を経て大手橋まで、上傳馬町から湊町、船町を経て大橋に至る間と堂町第一銀行支店附近から廣小路通り松月堂に至る線、神明町電車交差点から松竹館前通りの四路線を縣道である關係上縣費によつて本年度中に舗装を行ふことになつてゐるので市ではこれが進捗を計るため地元町民の三分の一負擔方折衝中である。

静岡縣下の一里塚榎の由

緒

岡崎市東部大平町の東海道路側に在る大榎は徳川二代將軍秀忠が五街道の制を定め奉行太田勝兵衛永田勝左衛門によつて江戸日本橋を起點とし東海道一里毎に塚を築いて其上に榎を植へしめたが其一で慶長九年二月に植栽せられ樹齡三百有餘年を経たるもので目下史蹟名所記念物として指定方を申請した。

三重縣觀光道路の誇り

觀光三重の項點神都宇治山田の御幸通りの一號國道から分岐し二見浦に出て波靜か

な伊勢灣の眺望をほしきまゝにして海岸つたひに鳥羽港に至る總工費七十萬圓延長一六・二キロ幅員七米の觀光ドライブウェイの道路改修工事起工式は十一月十日二見町の音無山山麓で舉行し富田知事の齋入の行事もなつた同路線は坂路もなくカーヴもなく山あり海あり森林あり眺望千變萬化しドライブの快味を満喫することとなるであらう。

湘南大橋開通す

相模灘に添ふて點綴する景勝の片瀨から大磯に至る海岸線延長一七キロの坦々たる觀光道は十月二十三日開通式が舉行され湘南大橋の渡橋式も行はれた、秋晴の空は湘南地方の開発と躍進の第一歩を祝福するもの如く感ぜられた、定刻に至り平塚市八幡神社の社司に依つて祭事が司られ關係者の玉串奉奠次で半井神奈川縣知事の式辭和田土木部長の工事報告、來賓の祝辭があつて終式後午餐會や祝賀會等が催され躍進湘南歡呼の聲が高く揚げられた。

近畿地方

京都府下福知山町道路明

粧

京都府天田郡福知山町の歡樂境街廣小路の舗装工事は本年九月着工左右人家に接した歩道幅員四米の地上、中央十二米の車道の基礎固め、車道と歩道の境界の側溝などの工事は完了し今や舗装は歩道シートアスファルト車道アスファルトの施工中で次で街路樹のプラタナス、街路照明燈も並立せられ坦々たる明粧遊歩道も遠からず出現することとなつた。

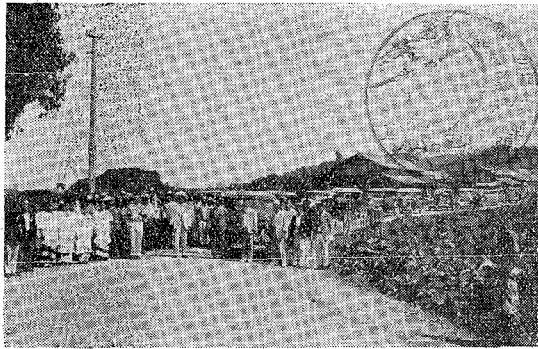
修路奉仕に黙々たる二十年間

大阪府豊能郡櫻井谷村では十一月十三日小學校講堂に於て自治功勞者に感謝狀を贈呈したが其中に唯一の善行者として賞狀と記念品とを贈與せられた阪口金太郎氏がある即ち同人は二十年前から野良への朝夕道路や堤防の破損箇所を見るごとにたゞ一人

でコツ／＼と改修して廻り、殊に昨夏の水害後には出水で荒された各所の道路を献身的に修理して村人の感謝をかち得たもので氏の行爲が道路愛護觀念を普及させたものは非常なもので、同村の人たちは深く感激してゐる。

奈良縣三輪土木出張所管内

道路愛護會一齊作業大會



作 業 光 景

奈良縣三輪土木出張所管内道路愛護會一齊作業大會を去る九月七日開催せり。

一 乾經濟部長、緒方土木課長、上田保安課長代理、土木課首腦者、同所管内の各警察署長、縣會議員、町村長、自動車、運輸會社長の一行自動車十五臺に分乘し管内の府縣道を巡視せり。

當日道路愛護作業せる團體十四、此の人員千三百四十七人、砂利運搬奉仕自動車三臺出動何れも熱烈なる意氣を以て愛護作業に従事せり。

斯くて愛護會員、自動車關係業者は勿論一般町村民にも多大の感銘を與へて道路愛護の認識をより一層深からしめ充分の効果を收むるを得たり。

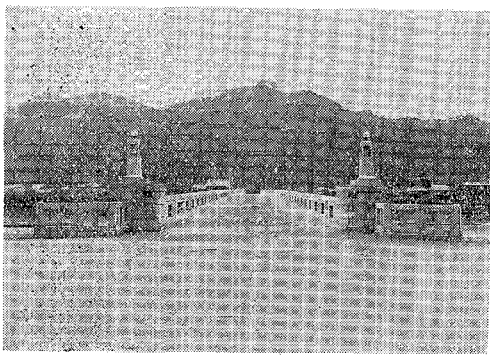
道 路 愛 護

愛せよ道路 設けよ愛護團
産業の開發には 良き道路
社會奉仕も手近の 道路愛護より
良き道は村榮え 國富ます
美化せよ道路 光らせ郷土を
良き村に良き道あり

奈良縣

和歌山縣安謐橋竣工

(縣土木課)



(和歌山縣安謐橋)

和歌山縣有田郡箕島町地内、指定縣道第二號和歌山御坊線が有田川を横斷する所に架換された安謐橋は今回永久構造橋に改造され美事に竣成した。本橋は有田川近くに架せられ、和歌山市から御坊町田邊町申本

町等を経て新宮市に達する所謂熊野街道であつて、海岸線を走る唯一にして重要な幹線道路の重點をなしてゐる。然るに舊橋は大正元年に架せられた木造で既に腐朽甚だしく、重量物の通過危険であつたので改築計畫を樹てゝゐた折柄、偶々一昨年の大風水害に流失の厄に遇ひ、災害復舊工事として國庫の補助を仰ぎ縣費を追加し、昭和十年十月八日工を起し約一箇年を経て本年九月十六日竣成を見た。

兩岸の山々は名だゝる紀州有田密柑の産地である。その綠尙濃厚な十月三日に感大な渡り初めの祝典が舉行せられた。其の工事の概要を記せば次の通りである

安謐橋工事概要

- 延長 一九七、八六米
- 幅員 五、五〇米
- 面積 一、〇八八、二三坪
- 型式 ゲルバー式鐵筋混凝土桁橋
- 徑間長 中央徑間 二三、〇米 七連
- 及連數 側徑間 一八、〇米 二連
- 橋臺 鐵筋混凝土扶壁式
- 橋脚 鐵筋混凝土井筒使用
- 上部工使用混凝土量 七六二、五粒

- 上部工使用鐵筋量 一三一、九趣
- セメント使用量 一八、二五〇袋
- 地質 玉石交り砂礫層
- 橋面 アスファルトブロック鋪裝
- 總工費 九八、一三〇圓
- 上部工費 四三、六一八圓 (秤當九〇、二圓)
- 橋體費 三二、五二六圓 (〃 二九、八圓)
- 鋪裝費 四、一六〇圓
- 高欄費 五、一六七圓
- 親柱其他費 一、七六五圓
- 下部工費 五二、六六九圓 (〃 四八、四圓)
- 左岸橋臺費 一、九七七圓
- 右岸橋臺費 三、三七四圓
- A號橋脚費 二〇、一八八圓 (三基分)
- B號橋脚費 一七、五〇一圓 (三基分)
- C號橋脚費 九、六三二圓 (三基分)
- 取合道路費 一、八四三圓

式 辭

清氣ハ爽颯トシテ天地ニ充テ、洵爛トシテ四山錦繡ヲ纏フノ時、安諦橋復舊工事竣成ヲ告ゲ、茲ニ渡初ノ式典ヲ舉行スルニ當リ多數諸賢ノ御來臨ヲ辱フシタルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ、抑本橋ハ熊野街道ヲ連絡スル重要橋梁ナルニ不拘其ノ幅員僅カニ二三米内外、橋齡既ニ二十有五年ヲ閱シタル木橋ニシテ腐損甚ダシク到底現時ノ交通ニ適セヌ、地方産業ノ開發ヲ阻害スルコト甚大ニシテ遺憾尠カラズシテ之レカ改築ハ多年ノ要望タリシカ縣ハ去ル昭和九、十兩年度ノ繼續事業トシテ改築ノ計畫ヲ樹テ施工準備中、同年九月未曾有ノ災害ニ遭遇全部流失シタルヲ以テ災害復舊工事トシテ國庫ノ補助ヲ仰キ合併架換ノ計畫ニ改メ總工費九萬五千餘圓ヲ以テ工事ニ着手シ今日其ノ竣成ヲ見ルニ至ル、洵ニ慶祝ニ禁ヘサルナリ。新橋ハ延長百九十八米有効幅員五米五ニシテ其ノ構造ハ堅牢宏壯ナル鐵筋混凝土橋ニシテ形態又清楚ナリ。今ヤ本橋ノ完成ニ因リ交通運輸及地方産業開發ニ裨益スル所極メテ大ナルモノアラム、是レ即チ國庫ノ補助ト地方民諸氏ノ多大ナル援助並ニ工

地方通信

事請負人ノ努力ニ俟ツモノ多大ナルヲ覺エ感謝措ク能ハサル所ナリ。希クハ關係各位協力一致以テ長ヘニ本橋ノ利用ヲ完フセムコトヲ、一言述ヘテ式辭トス

昭和十一年十月三日

和歌山縣知事 吉 永 時 次

中國地方

鳥取縣鳥取市内三橋の架橋工事

鳥取市内を貫流する袋川に架する若櫻、智頭、麻野三橋は廢川敷養切法を財源として改築の方針を立て、先づ智頭橋から着手することとなつた、新智頭橋は工費二萬千圓延長二十一米有効幅員九米の三徑間鐵筋コンクリートのモダン橋で高さ五米の照明柱が兩袖に立てらるるものである。

美伯地方熱望の岡山鳥越

嶮坂の征服

岡山縣下作北縱貫の大産業道路津山、倉吉線改道改修工事は現在津山市から北へ岡

山縣側の約半分を竣工して、苫田那久田村黒木に達し殊にその間全線中の最難關であつた鳥越峠の迂回工事も見事に竣工し、作北の交通と産業開發に一エボツクをもたらしたが、十月二十四日地元久田村小學校で盛大な竣工式を挙げたその竣工した津山、久田村間は延長約十二キロ、昭和八年第一期工事に着手以來總經費約三十萬圓、坦々六メートル五〇の幅員を誇る新道路は今後三年を出ずして岡山縣側全線を竣工する豫定である。

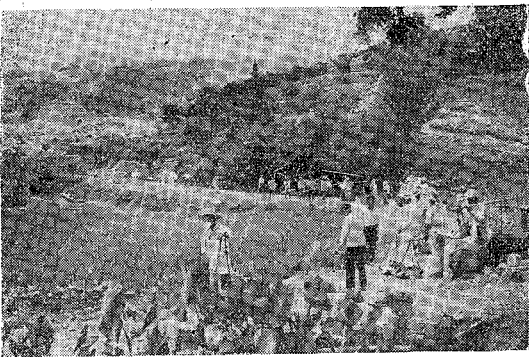
四國地方

德島縣道路運動近況

德島縣に於ける道路愛護運動は其後著々進められ今や縣下一市百三十六ヶ町村中道路愛護會結成未了町村は餘す所僅かに十ヶ町村となり結成團體は競つて之が作業の實施を見つゝあるの盛況にして土木課及土木出張所の關係各員は連日指導獎勵に忙殺され作業實施の成績顯著なるものあるは萬人の等しく認むる所なり。

今年七月以降十月十五日迄に於ける作業實施成績を擧ぐれば次の如し。

愛護作業實施町村數 五十五ヶ町村
作業延人員 約二萬人餘



名東郡那佐内河村道修理作業

而して縣下百三十四團體中最も異色あるは板野、名西、阿波、麻植四郡内石工職のみを以て組織せる中央石工道路愛護會にして會員數僅かに十五名の少數に過ぎざるも

職業柄作業能率の顯著なるは云ふに及ばず奉仕觀念の旺盛なるは感激の至なり。少年のみを以て組織せる愛護團としては

板野郡應神村兒童愛護團、名西郡藍畑村少年愛護團あり其他各町村道路愛護團作業に小學高學年生徒の従事しつゝあるは多數な



り尙各町村の狀況は次の如し。

△三好郡三繩村道路愛護會は本年六月一日創立し再來各班毎に作業を行ひ良好なる實績を擧げつゝあるが九月四日には助役外村吏員其他消防組、在郷軍人、青年團、婦少女會等二百餘名出動し三好橋から四水大利發電所の間に於ける溝さらへ、三、〇〇米

と道路除草三、五〇〇米の作業を行ふ。△那賀郡相生村道路愛護會では十月五日各部落作業區域に集合し府縣道東尾鷲數線延長一一籽の間を一齊に道路の除草市礫及び排水路の開設浚渫、保壁の修繕等に到るまで流汗に浸されつゝ總員四百餘名の會員が作業に従事し一般村民から感謝せられた。△名西郡高志村道路愛護會は十月十六日發會式を小學校講堂に於て舉行した

阿波郡八幡中石工道路愛護會は本年七月の頃道路愛護會を創設したが九月十日には全村各戸から一人以上出役夫れに青年學校生徒、小學校高學年兒童約壹千名が若松淺川校長の指揮に従ひ日和佐、甲の浦線縣、道四キロ間を汗水を流して草取り、地均し等の作業に従ひ奉仕する所があつた。△阿波郡大俣村では少年赤十字團が組織されて居るが九月十三日吉田團長指揮の下に約六百名の團員が殘暑と戦ひつゝ全村に亘り石材運搬石垣破壊箇所之復舊、路面跡形整理等の作業に従事し其公共的奉仕の熱心なる勞作

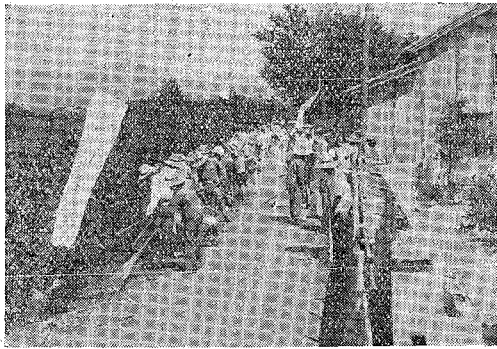
には村民をしていく感激せしめた。板野郡鳴門村では公園愛護會を設立し各公園の清掃を圖ることとなつた。△板野郡坂西町道路愛護會では第一回奉仕作業として九月



板野郡松茂村道路愛護會作業

十三日細雨の中に一般町民、消防組員、青年團員、國防婦人會員、小學兒童等を總動員して國道八、七三三・四八米 縣道三、二二・九五米、阪西石井線七〇〇米に亘つて

路面修理作業に服し道路愛護の實際的作業は一般町民の手で奉仕の實を擧げると俱に愛護の信念は深く刻み込まれての意義深きものがあつた。△三好郡山城谷、佐馬地兩



板野郡榮村道路愛護會作業

村道路愛護會は九月十一日山城谷は役場員消防組員、在郷軍人團、防婦人會員、青年少女會員、小學兒童等千六百名が出動し國道其他道路五里區界溝さらへ、除草等に従

事し佐馬地は會員二百五十二名が出動し路面美化作業に従ひ公共的奉仕の實績を擧げた。△勝浦郡小松島町小松島高等女學校では十月十三日戊申詔書御下賜記念日を卜し記念式を舉行し有吉校長から道路愛護の訓示、伊勢教務主任から道路愛護標語募集、道路美化作業の方法に付き講述せられ直に校附近の道路整理美化作業を實演する所があつた稀に見る女子に對しての實際的教育である。△麻植郡川島町地内が過般の水害で破損したので縣土木吏員の監督の下に川島道路愛護會員、高等小學一、二年の男子及び阿波、麻植兩郡の石工職を以て組織せる中央石工道路愛護會員四百餘名が一致團結し吉野川から砂礫を運搬し破損道路の復舊工に努めた結果相當難工事と見られて居つた破損道路も一日の奉仕で見事に復舊した。△那賀郡今津村道路愛護會に於ては九月二十四日全村一齊に道路愛護の作業を實踐することとなり七千九百米の縣道を見事に修復し更らに村道五千餘圓をも修繕し公共的奉仕の實績を擧げた。

觀光讚岐の路面明粧十年 繼續の計畫

香川縣臨時縣會道路調査會で調査研究の上樹立した縣内の道路改良改修、橋梁改築路面鋪裝をば總工費一千萬圓で昭和十二年度から十ヶ年繼續事業として施工するの大計畫の中道路改修は次の通である。

高松一琴平線八萬六千四百圓道高松一長尾線十五萬八千圓△高松一脇町線四十六萬二千二百三十圓△長尾一三本松線廿九萬一千四百五十圓△豐濱一觀音寺線九萬三千四百圓△琴平一豐濱線二十四萬三千三百圓△觀音寺一池田線二十七萬九千九百圓△坂出—貞光線四十一萬八千圓△土庄—坂手線七萬七千圓△志度—脇町線四十四萬三千七百五十圓△引田—牟禮線三百四十圓△五名—津田線十三萬八千八百圓△志度—川島線一萬二千六百圓△小田志度—線三千六百圓△志度—坂出線十二萬五千圓△平井—志度線五萬四千四百圓△田中—平井線十二萬四千四百圓△大龜—高松線七萬二千九百五十圓△長尾—坂

出線四十八萬七千圓△栗林—東濱線三萬九千圓△圓座—香西線四萬九千六百八十圓△粉所—高松線十二萬八百圓△由佐—高松線十三萬四千圓△安原—東濱港線七萬九千八百圓△高松—香西線五萬四千圓△五越—坂出線十四萬九千五百圓△鴨川停車場—白峰線十萬八千圓△松山—坂出線五萬六千七百圓△善通寺—脇町線二十五萬四千六百圓△岡田—丸龜線十三萬三千圓△多度津—丸龜線五萬五千圓△中條—丸龜線二萬五千圓△丸龜—琴平線九萬九千二百圓△丸龜—善通寺線三萬五千三百圓△善通寺—多度津線六萬三千八百圓△多度津—詫間線二十四萬六千圓△善通寺—莊内線六萬九千圓△詫間—池田線八萬四千六百圓△詫間—琴平線一萬三千七百五十圓△仁尾—善通寺線五十萬五百圓△仁尾—觀音寺線二十九萬六千二百圓△上高瀬—觀音寺線六萬三千七百七十圓△財田西—詫間線九萬七千五百五十圓△觀音寺港線十萬六千圓△河内—觀音寺線八萬二千八百圓△觀音寺—佐馬地線十八萬二千四百圓△豐濱停車場—同港線四萬九千七百圓△大部—草壁線九萬一千九百圓

△大部—土庄線五萬九千四百二十圓△高松—金藏寺線二十五萬四千七百圓△高松—一宮線二千九百圓△北浦—土庄線十一萬六千四百八十圓△高松—貞光線四萬四千二百圓△多度津—豐濱線二萬四千圓△下笠居—高松線十二萬一千五百圓△瀧宮—池田線一萬四千三百三十圓△西植田—高松線八千八百二十圓△鹽江—高松線三萬三千圓△造田—瀧宮線五萬六千四百圓△造田—高松線一萬二千圓△屋島—高松線二千二百九十圓△草壁—神懸線十六萬八千二百二十圓(以上府縣道)△國道および府縣道局部改良合計四百三ヶ所、四十七萬二千九百六十圓△同上橋梁改築五十一ヶ所五十七萬二千七百四十圓△國道二十三號線ほか十五線路面鋪裝百廿七萬圓

愛媛縣松山高濱線着工

愛媛縣々道松山—高濱線は愈々十一月早々工費二十一萬三千圓を以て着工したるが明年三月迄には完成する見込である、其延長は八キロ幅員は七・五〇米で近代の鋪裝道路とし其完成の曉は高濱、道後間は自動車で十二三分間で達し得らることとなる。

高知縣下道路愛護會の活動

高知縣高知郡戸波村では十月二十四日道路愛護會員二百五十餘名が各分擔地域内の道路清掃作業に従事し良好なる成績を収めた。△香美郡横山村では道路愛護會三千六百八十名が十月三十日各區域毎に道路清掃作業に奉仕し青年學校生も之と行動を共にし小學兒童の道路愛護精神と勤勞教育の上で實踐的效果を見る。△同郡上垂生村も十月三十日道路愛護會員と小學校兒童二百名も參加して縣道を清掃する處があつた。△高岡郡樺原村道路愛護會は十月十九日小學校講堂で盛大なる發會式を擧げ同夜は橋の餘地なき盛況を呈し道路愛護思想を徹底せしむる所があつた。△土佐郡鏡村道路愛護會第三支部區では青年、郷軍、國婦、處女、諸團體及小學兒童等總人員二百四十餘名が支部長の指揮に従ひ縣道三里餘に亘る間の除草、溝渠の浚深清掃、路面不陸均等の作業に従事した、道路利用者よりの贈物に一日の勞を謝し和氣調々の裡に道路愛護の精神を深く自覺する所があつた。△吾川

郡三瀬村は古來民風醇朴で一致協力事に當るの美俗を以て稱せられて居るが十月十四日に同村道路愛護會員四百名は會長伊藤氏の指揮下に除草、溝浚へ、路面均し等に目覺しい活躍振を示した。△吾川郡下八川村道路愛護會では十月二十八日三百五十名集合縣道本山伊野線延長五キロに亘り除草、溝浚へ、地均し、砂利撒き等の作業に従ひ見事な成績を収め夜分は道路思想普及映畫會を開催し千餘名の來會者があつた之れ亦好成績を擧げた。△土佐郡地藏寺村道路愛護會では十月二十四日道路思想普及映畫會を開催し六百餘名の來會あり盛況を呈した。△高岡郡加茂村道路愛護會では十月二十一日男女青年會、在郷軍人分會、國防婦人會消防組其他三百名出動し縣道村道の清掃作業に従事し愛護思想の涵養に益する所出なかつた。△吾川郡神谷村道路愛護會加田支部に於ては消防組、國防婦人會處女會、青年會等多數集合して神谷部落界より伊野町界までの道路清掃に従事し一同涙ぐましく努力奉仕に感激を催さしめた。△吾川郡芳原村では小學校講堂で道路愛護會發會式を擧行した。△幡多郡佐賀村道路愛護會で

は本年三月設立以來數回熱心に道路の美化に力め十月中には五回に涉り府縣道町村道の修理に従事し其の勞務時間千二十九時間を算した。△同郡伊豆田村道路愛護會員中青年學校生徒、國防婦人會員、女子青年會員は村内の道路美化作業に奉仕し附近の人々を歡喜せしめた。△香美郡上垂生村道路愛護會安丸五王堂兩小學校上級兒童は十月三十日三十一日の兩日府縣西峯大板線溝さらへ、路面均し除草等清掃作業に従ひ通行人及一般村民に大なる感動を與へた。△高岡郡東又村道路愛護會では在郷軍人分會婦人會、青年團、女子青年團等と協力し十一月一日道路愛護奉仕作業を實施した、さすがに更生經濟村として日頃の統制ある訓練を偲ばれた。△縣道愛護協會及治水砂防協會聯合して道路及治水施設愛護精神涵養と之れが普及を企て懸賞標語を募集する旨を發表する所があつた。吾川郡弘岡下ノ村では十一月四日道路愛護會發會式を擧行し同夜は道路思想普及活動寫眞會を開催し村民に非常な感銘を與へた。△吾川郡名野川村道路愛護會では男女青年團、在郷軍人、青年學校生徒總員二百名集合し府縣道の除

草側溝の浚渫路面の不陸均等の作業に従事し頗る好成績を挙げた。

九州地方

福岡縣下西大橋と天神橋との竣工

福岡縣下福岡市の一部分の都博多の新名所と稱せられてゐる西中湖と東中湖を結ぶ西大橋並に西中湖と福岡とを結ぶ天神橋とは今春何れも竣工して居つたが十一月二十二日愈々其竣工式と水上公園縣公會堂で舉行した、兩橋の工事概要は下の通である。

△西大橋（昭和八年十月着工十一年三月竣工）様式鐵筋コンクリート、ゲルバ式、總工費廿三萬七千圓橋長七十六米幅員廿米半△天神橋（昭和九年十一月着工十年三月竣工）様式鐵筋コンクリート單桁式總工費十萬五千圓橋長廿五米取付道路二百廿四米幅員廿米半

福岡縣の道路愛護デー

福岡縣では十一月二十日及二十一日兩日

に亘り縣下一齊に道路愛護デー、國縣町村道里道まで併せると約一萬里に達する本縣では毎年道路の修理費が縣費ばかりで五十萬圓も費してゐるので、道路愛護觀念の涵養には非常な努力を拂つて來てゐるが、今年も十五土木管區事務所が主體となつて青年會處女團、消防組、主婦會の應援を求めるとはか各戸より一人づつ動員して路面の修繕、法面除草、側溝浚渫を行ふた。昨年の調査によるとこの日一日の勞役は換算して十一萬四千六百餘圓の金額にのぼり、二十日には實施狀況視察のため坂本土木部長が筑後方面へ、細川縣道路課長が北九州、筑豊方面へその他職員十七名が手分けして縣下各地に出かけた。其の實績は近日まとめらる。

佐賀縣の長橋松浦橋の着工

廣津のシンボル九州第一の長橋として設計せられた松浦橋は昭和八年の縣會で工費二十萬圓三ヶ年繼續事業として計畫されたまゝ空しく今日に至つたが漸く十一月末から施工することとなつた、同橋梁は鐵筋コ

ンクリート連續桁式、橋脚は井筒式の深さ十二メートルとし欄干は近代照明を裝備し幅員九メートル、長さ三百七十間である。

帝國議會新議事堂と大熊喜邦博士の苦心

白聖の大殿堂帝國議會新議事堂の豪華なる雄姿は帝都の中央部の高臺永田町に巍然と聳へ立つた。十一月五日には長くも天皇陛下行幸親しく御覽遊ばされ、翌六日は皇族方の御内覽があつた、其翌七日落成式は盛大に行はれたのであるが此殿堂が實際起工されるに至つたのは大正七年六月で實に明治十九年以來の懸案が本格的に施行の事となつた其直接の擔當者は當時調査設計課長兼工務課長大熊喜邦氏である、大正九年一月三十日地鎮祭が行はれ血の滲む程の苦心が拂はれたもので此建築の爲めに二十有七年間身命を捧げて盡力した大熊博士として落成に臨み感慨無量なものであるであらう。